

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:			
指導医師:			
投与開始予定日:	年	月	日
投与終了日:	年	月	日

病名	小細胞肺癌
治療法	カルセド単独療法

	1
抗癌剤・商品名	カルセド
規格	20mg 50mg
一般名	アムルビシン
一日投与量(規定)	40mg/m ²
患者情報から算出した一日投与量	60.04 mg
実際の投与量	60 mg
	40 mg/m²
投与日	day1,2,3
1クール期間	21日間
予定クール数	
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施

適応基準	小細胞肺癌
推奨経口剤	○このレジメンは中等度催吐性リスク群です。 ※5HT3受容体拮抗薬+点滴デカドロン(点滴レジメン組込み)以外に以下の経口制吐剤を推奨します。 デカドロン: day2, 3, 4: 8mg/日 イメンド: day1(抗癌剤投与前) 125mg, day2・day3 80mg/日はオプションとして使用可。 ただし、デカドロン投与量を半減すること。
禁忌	1. 重篤な骨髄機能抑制のある患者 2. 重篤な感染症を合併している患者 3. 胸部単純X線写真で明らかで、かつ臨床症状のある間質性肺炎又は肺線維症の患者 4. 心機能異常又はその既往歴のある患者 5. 他のアントラサイクリン系薬剤等心毒性を有する薬剤による前治療が限界量に達している患者 6. 本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者 7. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
中止基準	投与前の好中球数: 1000/mm ³ 未満、血小板数: 50,000/mm ³ 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver4.0 における Grade3 の血液毒性に準拠)
副作用	●カルセド 重大 1. 骨髄機能抑制 2. 間質性肺炎 3. 胃・十二指腸潰瘍 4. 心筋障害(類薬) その他 (5%以上) 心電図異常、ALT(GPT)上昇、AST(GOT)上昇、LDH上昇、ALP上昇、総ビリルビン上昇、食欲不振、悪心・嘔吐、口内炎、下痢、脱毛、発熱、白血球分画異常、血清総蛋白低下、血沈亢進、血清アルブミン低下、A/G比異常、電解質異常(Na, K, Cl, Ca)、尿潜血
備考	

カルセド単独療法 観察記録

所要時間: 1時間

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師: カルセド (mg) 一般名(アムルビシン)		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	生食100mL		1時間かけて点滴 【100mL/h】	
		生食100mL +ラモセトロン1A +デカドロン 2 A	30分かけて点滴 【200mL/h】	
		生食50mL+カルセド	15分かけて点滴 【 200 mL/h】	
本体終了後抜去				